

— 4 — 平成 2 8 年 1 1 月 1 6 日 (水曜日)

名工大、フィリピン・ボホール州立大と協定

名工屋工業大学は、フィリピン・ボホール州立大との間で国際交流協定を締結した。調印式には名工大から鵜飼裕之学長及び高度防災工学センター(センター長：井戸田秀樹教授)所属の教員が出席した。

名工大はこれまで、2013年のボホール州大地震以降、名工大高度防災センターの北

川啓介准教授をプロジェクトマネージャーとし、JICA(国際協力機構)草の根支援事業「ボホール州における予防/準備/対応/復旧に関する防災能力向上プロジェクト(通称:Bohorizon Project)」を進めている。

これまでトウピゴン市で行政と市民、さら

にボホール州立大の教員と学生と連携しながら、ボホール州の防災能力向上に向けたレクチャーやワークショップを10回以上開催してきた。

今回も訪問中、同センターの張鋒教授、秀島栄三教授、北野利一准教授と北川研究室の学生2名はトウピゴン市で、地震や地すべりなどを対象とした地盤系の防災マニュアル、また、台風や洪水や高潮を対象とした水理系の防災マニュアルを作成するためのレクチャーとワークショップを行い、約100名の行政や市民が参加した。

A(国際協力機構)フィリピン事務所森田



ワークショップ

隆博次長とともに挨拶し、こうし



調印式に出席した鵜飼学長ら

た防災能力向上がフィリピン全土に今後広がることを願いながら閉会した。